

就業力を構成する要素

「就業力」GP推進プロジェクト
リーダー 藤村 博之

A 文書作成力

A-1	要点メモ力	話を聴きながら要点をメモする
A-2	記録作成力	メモをもとに記録を作成する
A-3	文意把握力	文章を読んで要点を把握する
A-4	文章構成力	読み手に伝わる論理構成を考える
A-5	文章力	他人の考えを踏まえて、自分の考えを文章で表現する

B 情報収集・分析・発信力

B-1	情報源把握力	必要な情報がどこにあるかを知る	
B-2	情報収集法	B-2-1	仮説構築力 情報収集のためには、どのような情報が必要かを判断する基準を持たなければならない。情報をすくい取る網をつくる。
		B-2-2	信頼関係構築力 大切な情報は人の中にある。「この人になら話してもいいかな」と思ってもらうには、その人との信頼関係が基礎になる。
B-3	情報価値判断力	B-3-1	資料批判力 資料の出所がどれだけ信頼できるか、周囲の状況からどれほど信頼に足る情報かを見分ける。
		B-3-2	取捨選択力 インターネット上の情報は玉石混淆である。いいものとそうでないものを見分ける目を持っていないと、誤った情報に振り回されることになる。
B-4	情報発信力	B-4-1	対象者確定力 誰に対して、どのような情報を発信するのかを決める。対象者によって、伝えるべき情報の内容が異なるはずである。
		B-4-2	情報媒体選択力 対象者に合わせて情報媒体を選ぶ。
		B-4-3	情報伝達力 情報の受け手に合わせて、発信する情報の構成を変える。伝えたい人に伝えたいことが伝わる方法を体得する。

C 状況判断・行動力

C-1	状況判断力	いつもとは違う状況になったとき、あわてることなく、何が起きているのかを見極める。	
C-2	状況対応力	状況を見極めた上で、とるべき行動を決めて動く。	
C-3	行動力	C-3-1	自己変革力 現状に満足するのではなく、常により良い状態を求めて自らを変えていく。
		C-3-2	環境変革力 より良い状態に近づけるために、必要に応じて環境も変える。
		C-3-3	説得力 自分の意見を他人にわかってもらい、ともに行動する仲間をつくる。
		C-3-4	共同行動力 他の人を巻き込んで、より良い状態を実現するために行動する。